



平成28年5月18日

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
(コード 3787: マザーズ)
住 所 東京都品川区西五反田二丁目12番19号
代 表 者 代表取締役社長 田 中 正 文
問 合 先 担当者 経営企画部 中 山
電 話 番 号 03-3492-3633

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 平成28年5月18日 15:00～16:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 東京証券会館

東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

説明会資料名 平成28年3月期＜第16期＞決算説明会

【添付資料】

1. 投資に関する説明会において使用した資料

株式会社テクノマセマティカル

平成28年3月期＜第16期＞ 決算説明会

■ Algorithm Specialist

TMC

平成28年5月18日

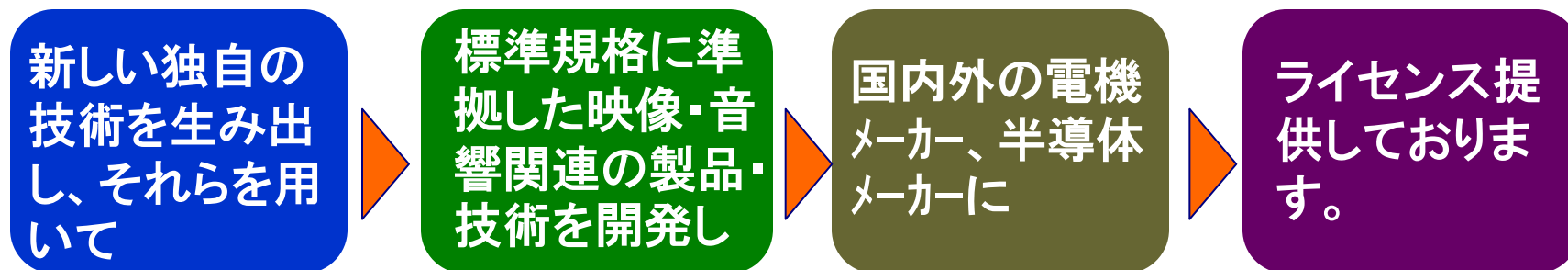
Agenda

1. 事業概要
2. 今期決算と来期予想
3. 売上内訳
4. B/S、C/F
5. 来期(H29/3期)について
6. これからの事業展開について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ① 高圧縮率
- ② 高画質
- ③ 低消費電力
- ④ 低遅延

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から

“アルゴリズム開発” をビジネスの基幹と位置付け

DMNA

(Digital Media New Algorithm)

テクノマセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称

画像/映像

音響/音声

DMNAを圧縮／伸張処理に応用

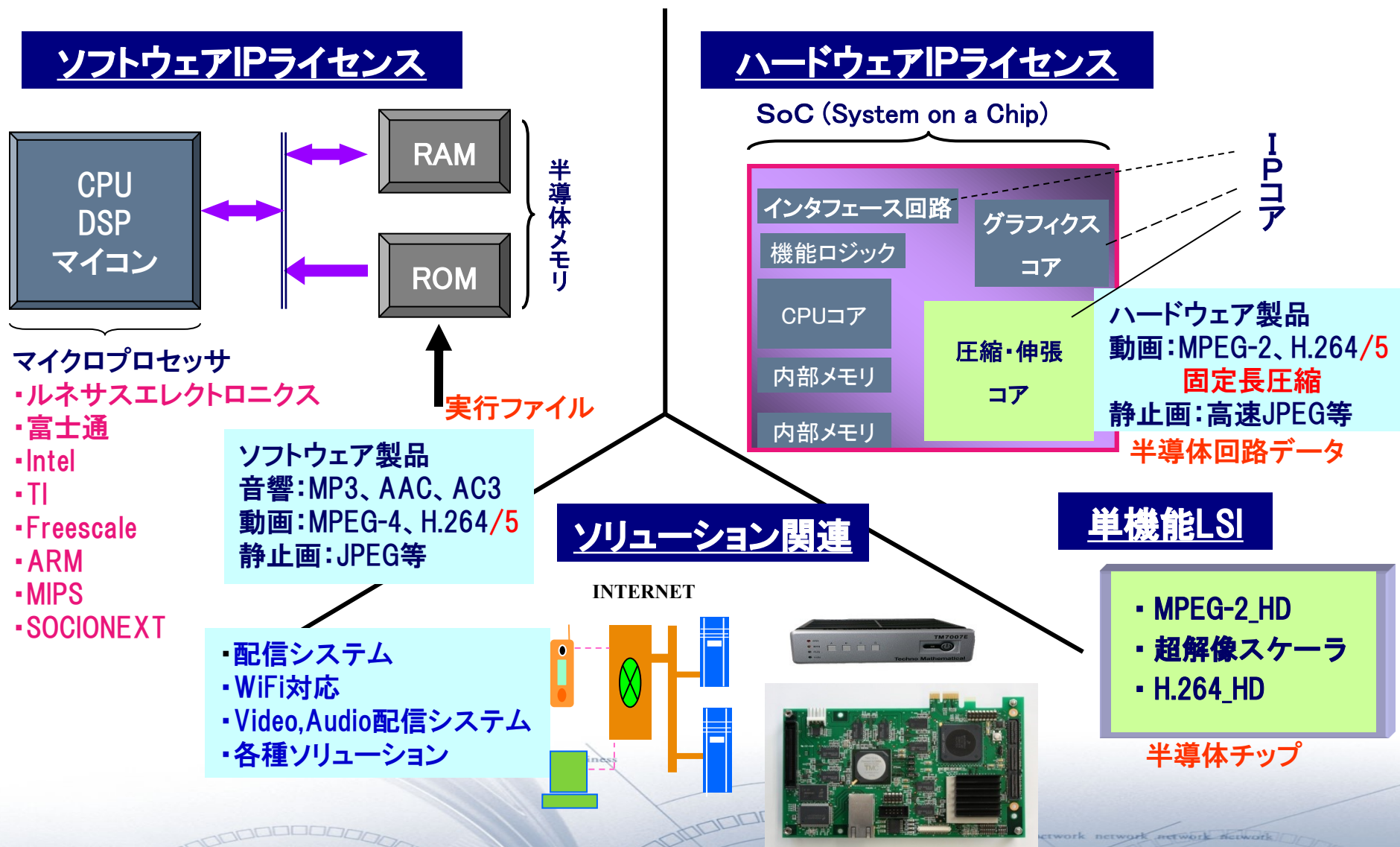
ソフトウェアIP

ハードウェアIP

ソリューション事業

単機能LSI/ボード

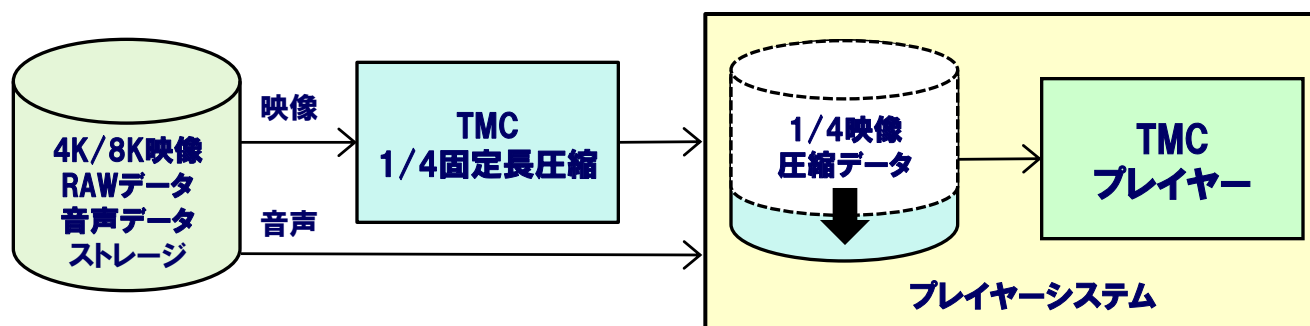
1-3 製品形態



1-3-1 画像／映像

ビジュアルロスレス 1/4固定長圧縮 4K/8K 60fps プレイヤー

- 1/4固定長圧縮技術を使用することで、**バス帯域、ストレージ容量を確実に1/4に縮小**
- TMCのビジュアルロスレス技術は、原画と区別ができない画質レベル
- 音声2チャンネルを含んだプレイヤーシステムとして提供



用途

ストレージ
容量を
1/4に抑
えながら

- 4K/8Kデジタルサイネージ
4K/8Kの大型パネルに必要な高画質な映像を再生する用途。
- 4K/8K医療用モニター
医療用向けの精細な映像データをビジュアルロスレスで再生する用途。

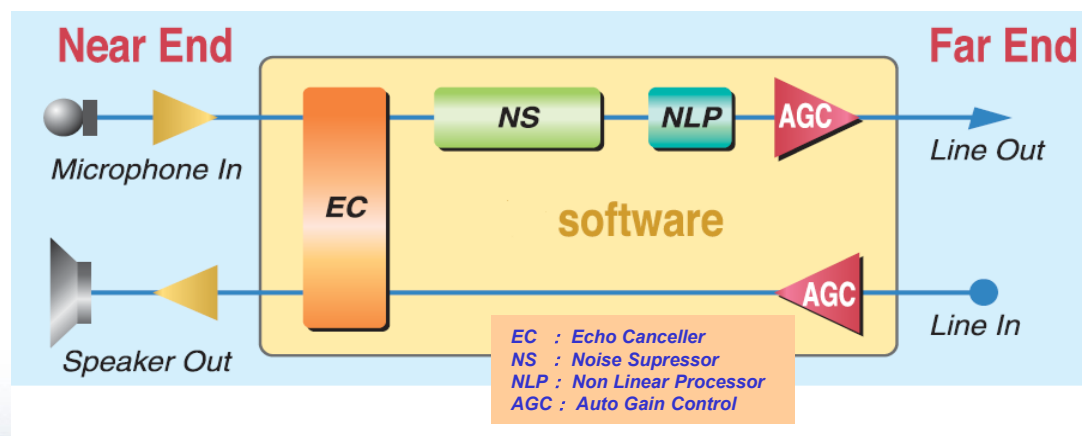
1-3-2 音声 ハンズフリー ソフトウェア

車載品質を獲得！

ハンズフリー・ソフトウェアは、スピーカフォン使用時のエコーをキャンセルし、全二重通話を可能にするソフトウェア。



携帯電話によるハンズフリー通話や、インターフォン、TV会議システムなどでの採用実績を背景に、車載要求水準を満たすハイスpekバージョンを開発し、車載システム向けに量産ライセンス獲得。



1-3-3 ソリューション

WiFi同期配信システム ～Tablet Sync Viewer～

WiFi同期配信システムは、**最大50台**のタブレットに**リアルタイム**で映像・音声を配信可能(5GHz帯の無線を使用)



教育現場やプレゼンテーションでの使用に最適



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像／音響／音声製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存／新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 損益計算書推移

(単位:百万円、%)

	H27/3期(実績)			H28/3期(実績)			H29/3期(予想)		
	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額
売 上 高	600	100.0	54	691	100.0	91	860	100.0	169
売上総利益	496	82.7	△ 5	597	86.4	101	700	81.4	103
販売管理費	635	105.8	△ 63	653	94.5	18	650	75.6	△ 3
営 業 利 益	△ 139	△ 23.2	57	△ 55	△ 8.0	84	50	5.8	105
経 常 利 益	△ 127	△ 21.2	65	△ 55	△ 8.0	72	50	5.8	105
当 期 純 利 益	△ 143	△ 23.8	52	△ 58	△ 8.4	85	58	6.7	116

2-2 業績の推移

H28/3期 ◆ 売上高 ハードウェアIP案件少ないも、他部門堅調で15%増収
要 因 ◆ 損 益 増収と経費節減により赤字幅は縮小

H29/3期予想

(百万円)

1,000

800

600

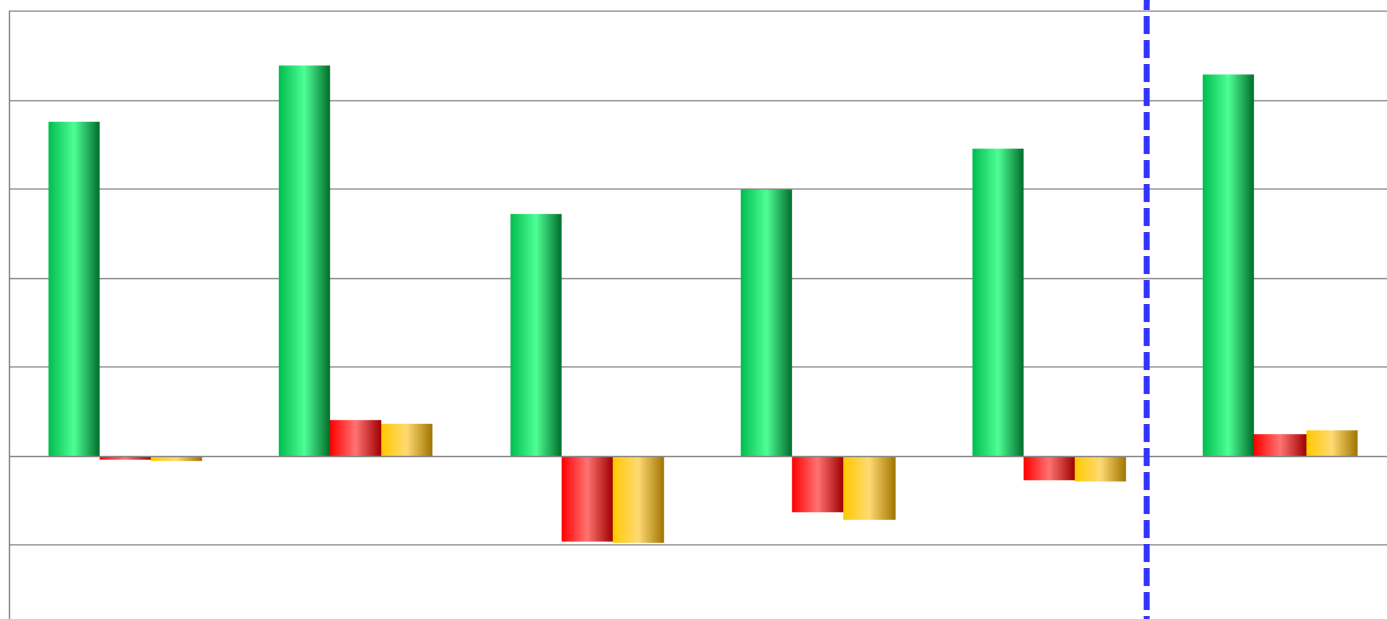
400

200

0

-200

-400



H24/3期

H25/3期

H26/3期

H27/3期

H28/3期

H29/3期

■ 売上高

753

878

546

600

691

860

■ 経常利益

△ 8

82

△ 192

△ 127

△ 55

50

■ 当期純利益

△ 11

74

△ 195

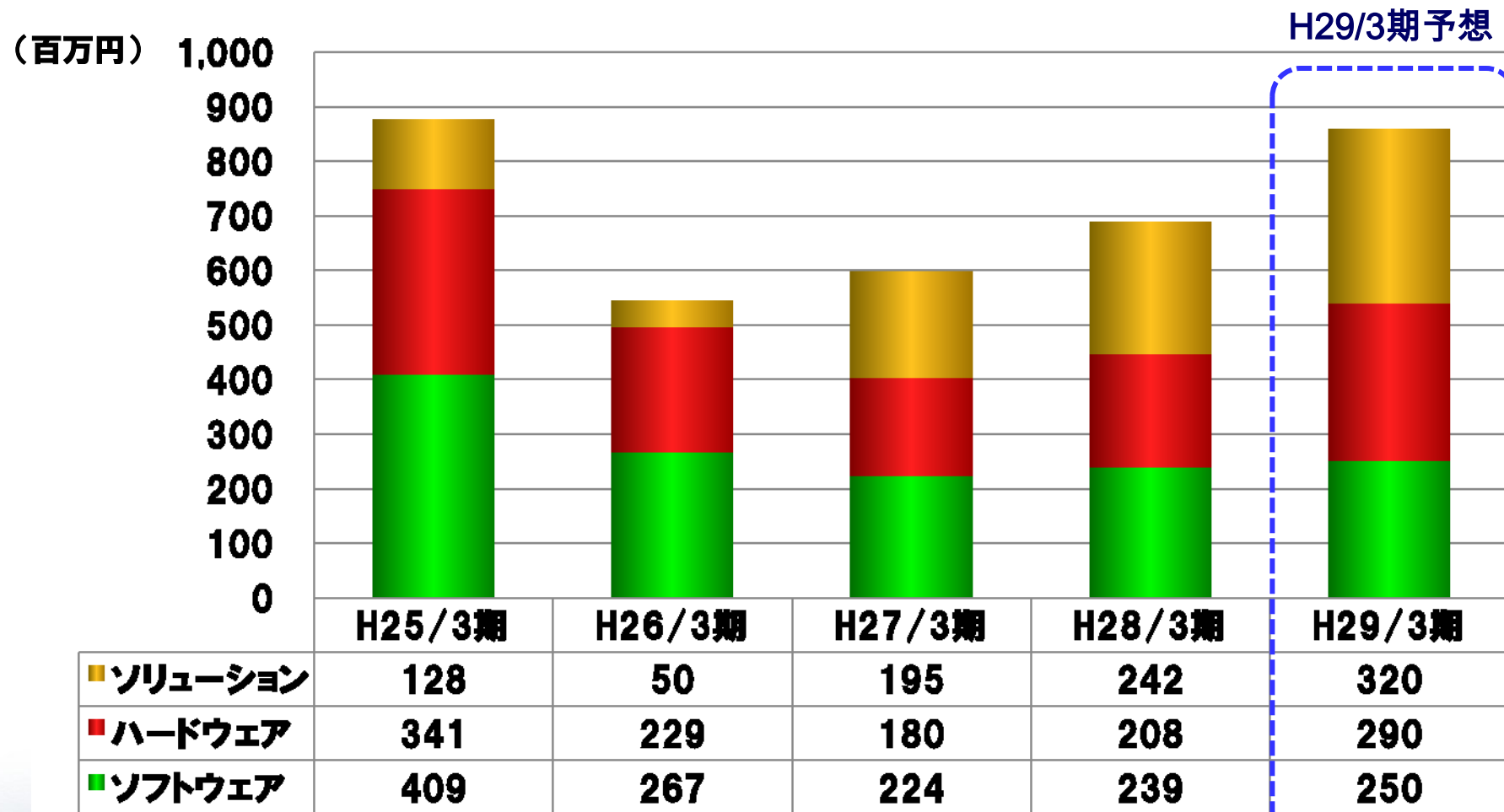
△ 143

△ 58

58

3-1 売上の内訳(事業区分別)推移

- H28/3期 ◆IP事業は前期比10%増・・・ソフトウェアは6%増、ハードウェアは16%増なるも低水準
◆ソリューション事業は前期比24%増・・・小型版低遅延装置、システム構築案件などで

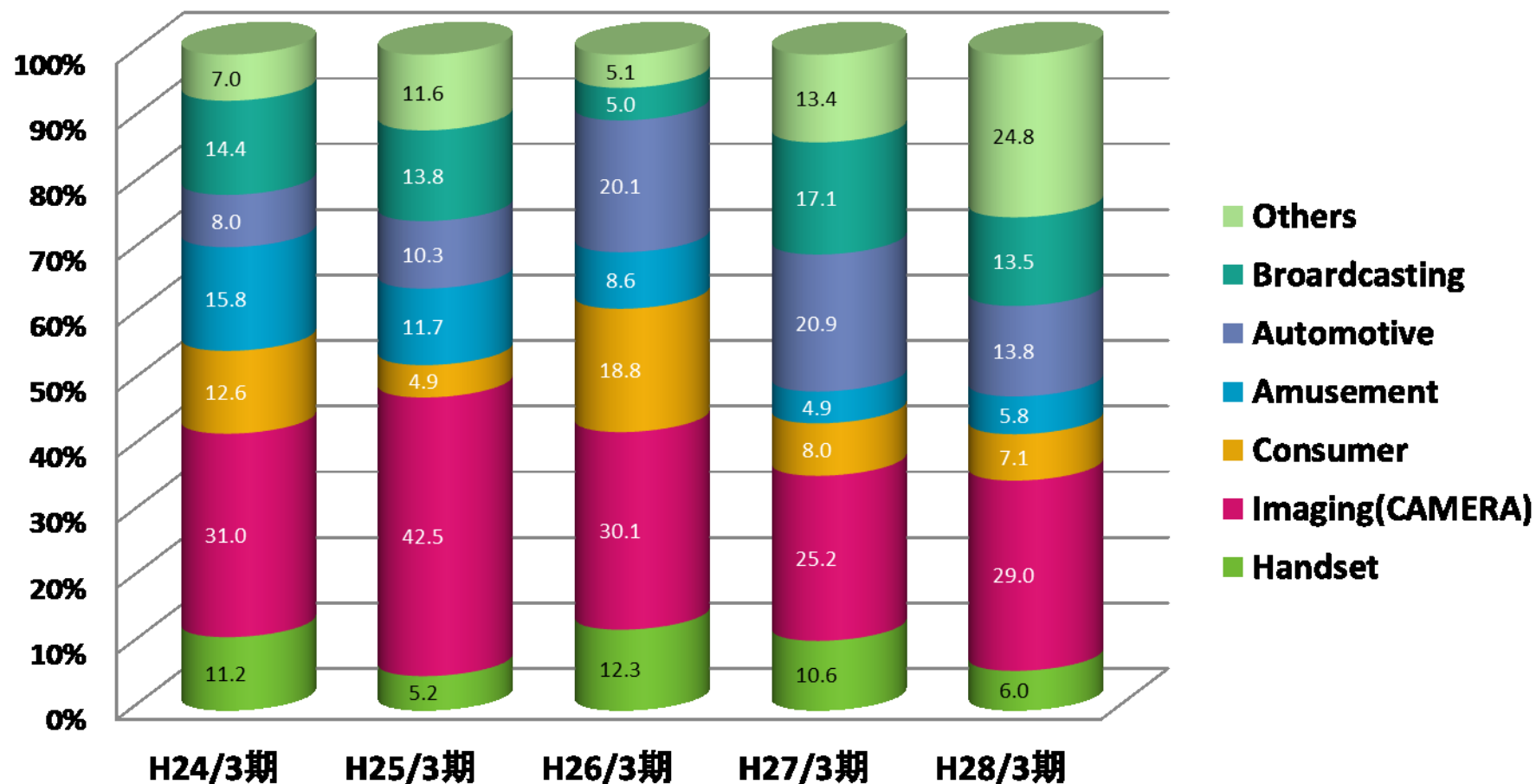


3-2 売上の内訳(対象市場別)推移

H28/3期

◆CAMERA・Broadcasting関連は堅調推移

◆ソリューション事業(低遅延装置、システム構築他)の拡大に伴い、その



4-1 貸借対照表 (平成28年3月31日)

(単位:百万円)	前々期末 (H26/3期末)	前期末 (H27/3期末)	当期末 (H28/3期末)	構成比	対前期末比 増減
流動資産	2,539	2,900	2,108	72.1%	△792
固定資産	577	67	814	27.9%	747
資産合計	3,117	2,967	2,923	100.0%	△44
流動負債	100	92	97	3.3%	5
固定負債	—	—	2	0.0%	2
純資産	3,016	2,875	2,822	96.5%	△52

4-2 キャッシュ・フロー計算書推移

(単位:百万円)	前々期 (H26/3期)	前期 (H27/3期)	当期 (H28/3期)	対前期比 増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	Δ 199	Δ 266	30	296
投資活動による キャッシュ・フロー	Δ 2	Δ 14	Δ 552	Δ 537
財務活動による キャッシュ・フロー	14	1	—	Δ 1
現金及び現金同等物 の 増 減 額	Δ 184	Δ 270	Δ 522	Δ 252
現金及び現金同等物 の 期 首 残 高	1,397	1,212	942	Δ 270
現金及び現金同等物 の 期 末 残 高	1,212	942	420	Δ 522

5-1 H29/3期業績見通し

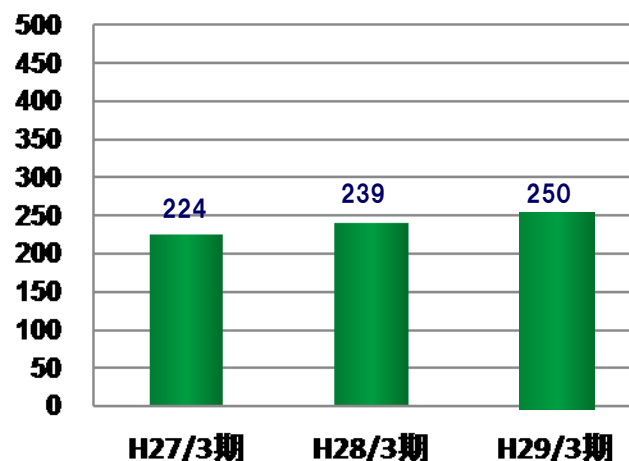
(単位:百万円)	予 想	増減	増減率	H28/3期実績
売 上 高	860	+169	+24.5%	691
経 常 利 益	50	+105	—	△55
当 期 純 利 益	58	+116	—	△58

- ◆ ソフトウェアライセンス＝配信システム、携帯端末、車載ナビ向け中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝デジカメ、ディスプレイ装置向け中心にH.265、4K/8K、固定長圧縮見込む
- ◆ ソリューション＝代理店等を活用し、低遅延小型版伝送装置の本格販売、その他配信システムも見込む

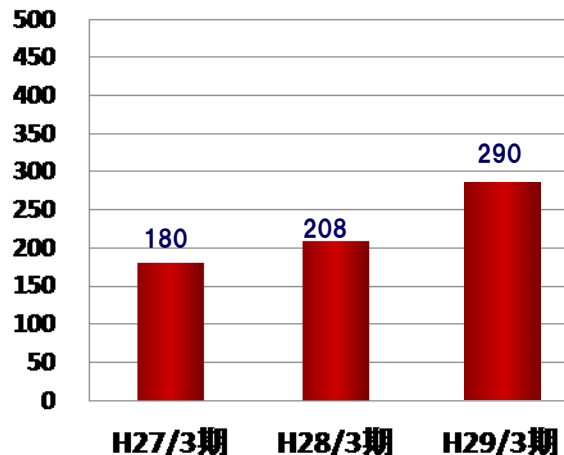
5-2 事業区分別売上予想

＜売上高＞（単位：百万円、H27/3期、H28/3期は実績、H29/3期は予想）

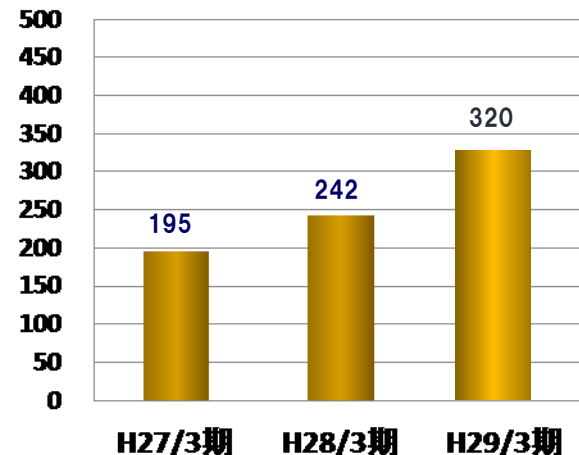
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション事業



予想
基礎

- ・ **配信システム**関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・ オーディオ、ボイス関連も**携帯端末、車載、音声認識**向けに伸び見込む

- ・ **デジカメ**向け中心に**H.265、4K/8K**案件獲得を目指す
- ・ **ディスプレイ装置**向け中心に固定長圧縮などが伸び復調を見込む

- ・ **低遅延小型版伝送装置**の国内外における拡販見込む
- ・ **TM5184MJC (H.264LSI + CPU)**等で各種システム構築案件の獲得見込む

5-3 平成29年3月期における課題

1. 売上拡大

(1) IPライセンス事業: 4K/8K/H.265/ **固定長圧縮** 案件の獲得

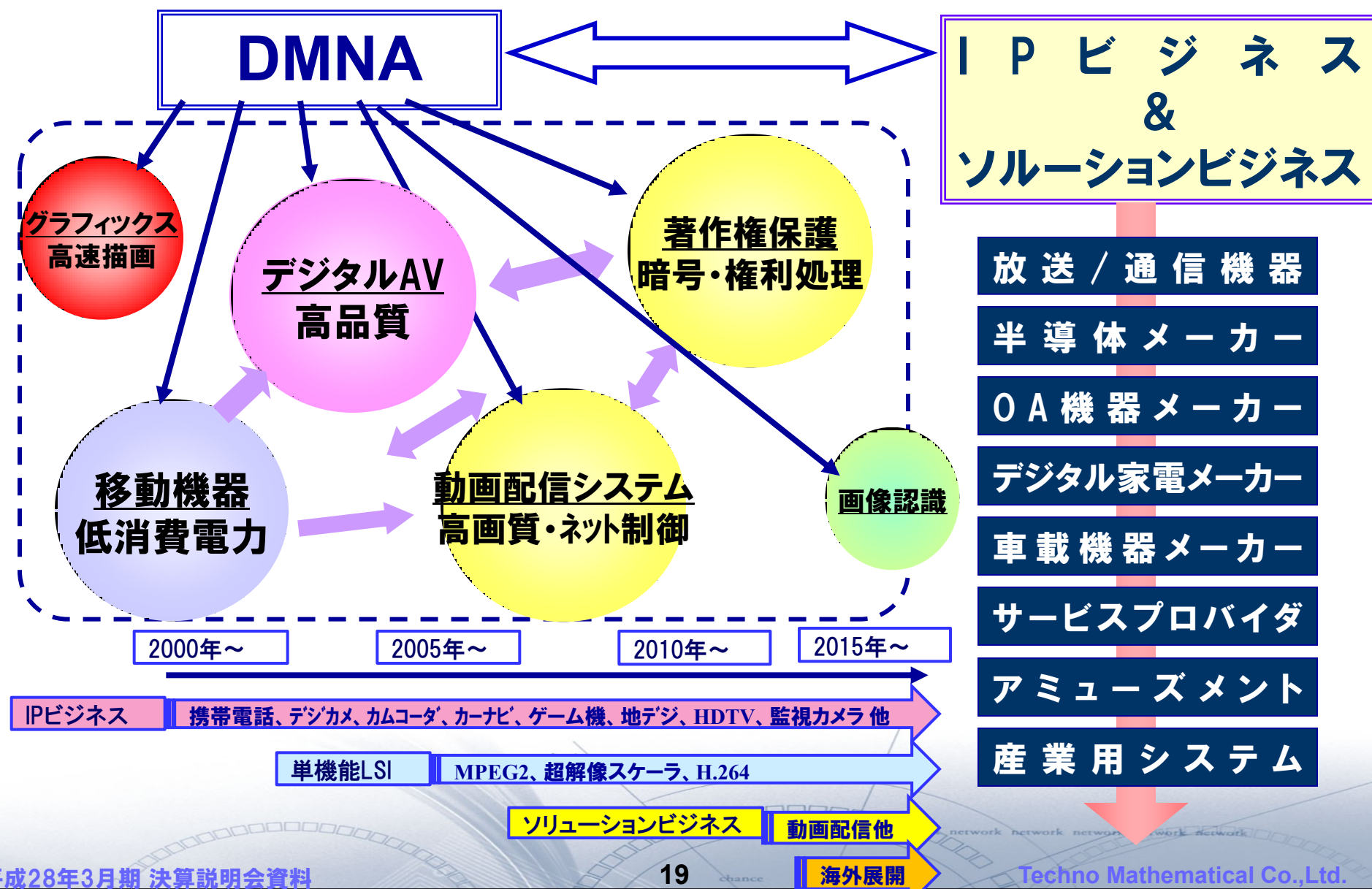
(2) ソリューション事業: **代理店等を活用した低遅延小型版装置の国内外での拡販と市場ニーズを先取りした新製品開発**

2. 海外ビジネスの対応強化と案件数拡大

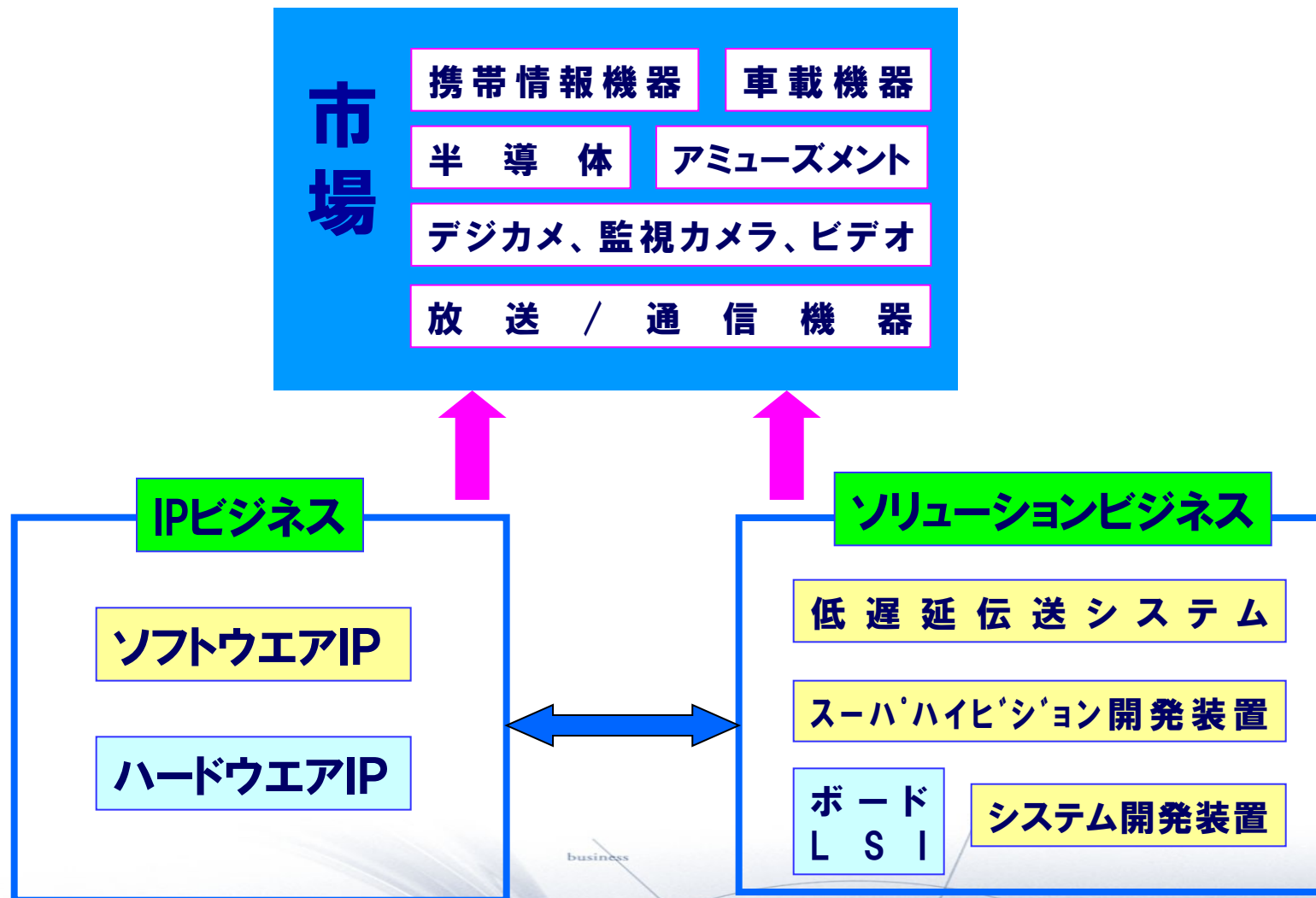
3. 全部門の意識改革による黒字体質の構築

4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の維持・強化

6-1 ビジネス展開の推移



6-2 IPビジネスとソリューションビジネス



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp